



主要な農作物の生育情報

平成25年度 第6号

(平成25年9月13日)

福島県農林水産部農業振興課



【水 稲】

県内各地の出穂期は各品種とも平年並み～早く、特に会津、南会津地方では平年比3～4日早くなりました。

いもち病は、県内各地で葉いもちが散見されましたが、穂いもちの発生は全般的に少なめです。

斑点米カメムシ類は、病虫害防除所から6月末に注意報が出され、8月下旬の調査でもすくい取り数が多くなっています。

農業総合センターにおける「ひとめぼれ」は、すでに成熟期を迎え刈取適期となり、「コシヒカリ」も9月下旬には成熟期となり、刈取適期を迎える見込みです(表1)。

刈取適期の予想は出穂後の積算気温を基に、一般に「ひとめぼれ」で950℃、「コシヒカリ」で1000～1050℃到達日が刈取適期の目安となります。

なお、最終的には籾の黄化率85～90%を確認し、刈り取りを判断してください。

表1：水稲主要品種の出穂期と成熟期予想(農業総合センター) (9月12日現在)

場 所	品 種	田植日 (月日)	出穂期			成熟期(予想)		
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)
本 部	コシヒカリ	5.15	8.12	8.12	0	*1 (9.26)	9.25	(+1)
	ひとめぼれ	5.15	8.06	8.05	+1	*2 (9.14)	9.14	(0)
浜地域 研究所	コシヒカリ	5.10	8.12	8.12	0	*1 (9.26)	9.24	(+2)
	ひとめぼれ	5.10	8.06	8.04	+2	*2 (9.13)	9.13	(0)
会津地域 研究所	コシヒカリ	5.20	8.06	8.09	-3	*1 (9.18)	9.21	(-3)
	ひとめぼれ	5.20	7.31	8.04	-4	9.10	9.14	(-4)

農業総合センター作柄解析試験。(浜地域の平年は前年値を示す。)
成熟期(予想)について
(*1) 出穂後の積算気温到達日による予想日。
(*2) 籾の黄化状況からみた成熟期予想日。

●農業総合センター作況試験(水稲)の調査結果はこちらも参考にしてください。

http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/sakkyou_index.htm

【野 菜】

1 夏秋きゅうり

県内各地の4月播種の露地栽培では、全般に草勢が低下し、尻太果や曲がり果の発生が多く見られます。5月播種、6月播種の遅まきの作型は、草勢低下はあるもののほぼ平年並みの生育です。

病虫害は、褐斑病、炭そ病、うどんこ病、アザミウマ類、ハダニ類が発生しています。

2 夏秋トマト

県南、会津、南会津地方は現在、それぞれ10段果房、8段果房、6段果房を収穫中で、生育は平年並みです。ほ場により草勢が低下し、裂果や上段の花落ちが見られるほ場があります。病虫害は、葉かび病、うどんこ病、オオタバコガ等が発生しています。

3 サヤインゲン

県中地方では、現在4月播種作型の収穫はほぼ終了し、6～7月播種の作型が収穫されています。ほ場によって高温等の影響で落花や曲がり果等の発生が見られます。病害虫は、一部で角斑病やアザミウマ類が発生しています。

4 夏秋ピーマン

露地栽培は、8月上旬の集中豪雨とその後の高温乾燥により草勢が低下したところがあり、不良果が見られましたが、現在は不良果の発生は減少しています。病害虫では一部でオオタバコガ等の発生がしています。

5 夏秋ナス

安達地方・県中地方の露地栽培は、7月下旬の降雨や寡照により草勢が低下しましたが、8月中旬以降の好天により草勢は概ね平年並みに回復しました。病害虫は一部で半身萎ちょう病や萎ちょう病、ハダニ類が発生しています。

6 アスパラガス

県内の露地栽培では現在夏秋どりの収穫中です。8月中旬以降の高温により生育が抑制され、穂先の開きや曲がり等の発生が見られましたが、現在では、これらの発生は減少しています。病害虫は、茎枯病の発生は平年より少ないです。アザミウマ類及びヨトウムシ類が若干発生しています。

7 ニラ

5～6月の高温、乾燥により生育が一時停滞しましたが、その後回復し、現在1年株及び2年株ともに分けつ数や草丈、葉幅が確保され、平年並みの生育となっています。害虫は一部でアザミウマ類が発生しています。

8 イチゴ

夜冷育苗は平年並みの9月上旬から定植が開始され、普通育苗も9月中旬から順次定植される見込みです。病害は一部で炭そ病、萎黄病、うどんこ病が発生しています。

【果 樹】（9月2日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 もも

「まどか」の収穫盛りは8月18日で平年より5日遅い状況でした。収穫果実の一果重は339gと平年より大きく、糖度は13.1で平年より低い状況でした。

「川中島白桃」の収穫始めは8月23日で平年より2日早い状況でした。

「ゆうぞら」の収穫始めは8月29日で平年より3日早い状況でした。

2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「豊水」は縦径が74.6mmで平年比102%、横径が88.2mmで平年比105%と、平年よりやや大きい状況です。

「幸水」の収穫始めは8月23日、収穫盛りは8月29日でともに平年より4日早い状況でした。収穫果実の一果重は358gと平年よりやや小さく、糖度は12.4でほぼ平年並みの状況でした。

「豊水」の収穫始めは9月12日で平年より3日早い状況でした。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が71.1mmで平年比100%、横径が78.8mmで平年比101%と平年並の状況です。

「つがる」の収穫始めは8月26日で平年より2日早く、収穫盛りは8月27日で平年より8日早い状況でした。果実品質は、一果重が265gと小さく、糖度は14.1と高く、果肉硬度は11.9ポンドでやや低い状況でした。

【花 き】

1 キク類

露地栽培の小ギクや輪ギクは、高温乾燥や降雨等の影響で一部下葉枯れ症状が見られますが、需要期に順調に出荷される見込みです。病害虫は、一部でさび病やハダニ類が発生しています。

2 リンドウ

彼岸咲き品種の生育は、草丈や節数とも平年並みで、需要期に順調に出荷される見込みです。病害虫は、一部で葉枯病やハダニ類・アザミウマ類が発生しています。

3 シュッコンカスミソウ

高冷地では、現在7月定植ものの出荷が始まっています。高温の影響で生育が前進しているため、10月出荷の数量は減少する見込みです。

病害虫は、一部でハダニ類が発生しています。

4 トルコギキョウ

各地域ともに抑制栽培の出荷が始まっています。ほ場によっては高温による早期着蕾が見られ、草丈はやや短く生育しているところもあります。

病害虫は、一部でアザミウマ類が発生しています。

【飼料作物】

牧草は、2番草の収穫が終わり、現在3番草の生育期を迎えています。地域によっては、降雨による刈遅れの影響で草丈が短い牧草地が見られます。

飼料用とうもろこしの生育は、収穫期、収量ともに平年並みが予想されます。早生種では8月下旬から収穫期を迎えています。

稲WCSは、平年並みの8月下旬より収穫が開始され、これから本格的な収穫期を迎えます。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11224